

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
 - ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
 - ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- ※ これまでの「学びの一体化」の成果を活かしつつ、小中一体となって保幼もまきこみながら、地域とともに子どもを育むことを目指します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①地域に学び、地域を愛し、地域に貢献する生徒の育成

クリーン大作戦（地域清掃）・花火大会清掃ボランティア

クリーン大作戦は「校区をきれいにすることで、地域を大切にする心やボランティア精神を養う。」「生徒が主体的に取り組むことにより、自己責任感を育てる。」「生徒・教師がともに校区に出て行くことで、地域を知り、つながりを深める。」ことを目的に毎年、**全校生徒が参加し実施**しています。本年度、公共施設は、幼稚園、保育園、北部児童館・市民センターの清掃を行いました。

花火大会清掃ボランティアは、生徒会本部役員が呼びかけ、**クラブ単位での活動として行っています。（約180名の生徒が参加しました。）**清掃活動に参加することでボランティア活動の精神を養い、自分たちの街を美しくしていこうとする意識を培うとともに、地域に根ざした中学生の活動やリーダーシップを見てもらうことで、中学生の姿を地域の方に認識してもらうことができました。

両取り組みとも、保護者・地域の皆様にたいへん良い評価をいただきました。

地区総合防災訓練・隣接幼稚園との合同避難訓練

地区総合防災訓練は、地域住民が一体となつて行う総合防災訓練で、「自助」「共助」「公助」の理念の基に組み込まれます。多くの住民が自主防災の意識を高め、参加者同士の交流



によって人の輪が広がり、地区全体の自主防災体制が機能し、防災・減災に役立つことを目的に実施されました。

約200名の生徒がボランティアとして参加しました。生徒は最初のサイレンで地域の人たちと一緒に指定場所へ向かいます。途中で要援護者(老人や小さな子ども)を見かけたら、支援しながら避難所に向かいます。学校に到着し屋上へ避難する際も要援護者を支援しながら屋上へ誘導します。支援者に「一緒に上がりましょうか」「お困りじゃないですか」などと声をかける姿も見られました。また炊き出し訓練も行い、地域の方たちとともにアルファ米の炊き出しも行いました。

本校と隣接する暁幼稚園との合同避難訓練は、「想定を超える大地震・大津波等の災害の備えについて意識を高める。」

「災害発生時に生徒が、率先避難者・率先救助者たる資質を養う。」「地域と協力し、生徒・地域住民ともに生き延びるための方策を確立させる。」「本校が、地域の避難所としての機能を果たすための準備を進める。」ことを目的に実施しています。年2回、本校の津波を想定した避難訓練ととも



にも実施し、生徒が園児の救出・誘導に向かいます。幼稚園から本校までの道路では中央部を通り、南門から中学校敷地に入り西側非常階段を使用し、屋上へ避難誘導をします。その際、屋外では園児をおんぶ(年少組60名)・だっこ(年中69名・年長組68名)して移動し、校舎内階段等では手を引いて誘導します。地区総合防災訓練の理念である「自助」「共助」「公助」を中学生が目指す素晴らしい取り組みであるとの評価を多くの方々からいただいています。

地区大運動会ボランティア・夏まつりボランティア

地区大運動会は、「まちづくり」の一環として、富洲原地域の一体感を育み深めるために開催されています。多くの地域の方々に参加され、ふれあい・交流の場となっています。その場に本年度は約120名の中学生がボランティアとして参加し、競技を1つ担当し、準備や運営スタッフとして協力し、①プログラム委員会②準備委員会③賞品係の3つの係に分かれ活動しました。地域の方々からは、中学生の若い力が大変助かるとの声をたくさんいただきました。



夏まつりのボランティアには本年度生徒会本部役員を中心に21名が参加予定でしたが、本年度は台風の接近により中止となりました。例年は、「地区行事に参加して、地域住民との交流を図り、富洲原地区住民の一員としての自覚を促す。」「店の運営、ゴミ管理、社明運動を通して地域の人との交流を持ち、ボランティア活動の精神を養う。」ことを目的に参加しています。当日の活動内容は、①千本引き(出店の運営)②ゴミ拾い(ゴミの分別・ゴミ回収およびその呼びかけ)③ペットボトルキャップの回収(運営本部席と千本引きブース)④社会を明るくする運動(ティッシュ配り等)で、参加生徒は、例年これらの活動に意欲的に取り組んでいます。



当日の活動内容は、①千本引き(出店の運営)②ゴミ拾い(ゴミの分別・ゴミ回収およびその呼びかけ)③ペットボトルキャップの回収(運営本部席と千本引きブース)④社会を明るくする運動(ティッシュ配り等)で、参加生徒は、例年これらの活動に意欲的に取り組んでいます。

②地域人材、外部講師、保護者を活用した教育活動等

ホット集会での炊き出し

ホット集会は、以前行事として行われていたマラソン大会のあと、PTAの方々、寒い中頑張って走った生徒たちのために、温かい豚汁を用意くださり、食べたことが始まりです。今では、クリーン作戦・炊き出し訓練とタイアップし、校内・地域を掃除したあと、PTAの方々のお世話になり、豚汁をいただいています。2年生はアルファ米を準備し防災時の炊き出し訓練も行いました。地域の自主防災隊の方々や消防署・警察署の方にもお越しいただき、アドバイスもいただきました。



歯科指導・がん教育講座・模擬裁判授業・合唱指導・企業連携授業



本年度もたくさんの地域の方々や外部講師の方々にお越しいただき、授業をしていただくなどの教育活動を実施しました。

本校歯科医による歯科指導、がん教育講座、模擬裁判授業、家庭科での企業連携授業など多くの方々にお越しいただき、生きた授業を地域の方、外部講師とともに実践できたことは生徒にとって大きな財産となりました。

また例年、保育園児・幼稚園児・小学生・地域への合唱の披露を実施していますが、今年もそれに向けてソプラノ歌手の外部講師の指導を受け、生徒もその指導に応えるようより一層心に響く歌声を目指しました。

人権講演会

本年度は人権講演会で、障がいのある方に児童・生徒の前で手品を披露していただきました。障がいのある方と実際に接することで理解を深め、生徒が地域においてもその経験を生かし活動できるきっかけにすることができました。



ヘルスマイトの支援による調理実習

今年も富洲原地区ヘルスマイト（食生活改善推進員）の支援による調理実習をおこないました。友だちとの協働的な学びの場の中で、調理する楽しさを味わいながら、グループ内での自己有用感、達成感を醸成する学習機会になりました。



地域のヘルスマイトとの関わりの中で調理に関わる技能の習得を目指しつつ、ヘルスマイトには食育アドバイザーとして、生徒自らが健康を守る力をつけられるように指導していただきました。

職場体験学習

2年生が富洲原地区を中心とした29事業所で、3日間職場体験学習を行いました。生徒が直接働

く人と接し、実践的な知識や技術・技能に触れることで、学ぶことの意義や働くことの意義を理解していくことを目的に行いました。進路意識の未成熟や勤労観、職業観の未発達な部分を補い、主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲を養うために地域の力をお借りしました。



③校区の1保1幼1小1中という特性を生かした学びの一体化の活動

保幼小中合同の音楽集会

本校3年生が小学校へ出向き、富洲原保育園・幼稚園の園児、そして富洲原小学校の全児童とともに、小学校講堂に集い、「音楽集会」を開催しています。コミュニティスクール委員のみなさんと保護者の方々にも観覧いただきました。

それぞれの合唱の発表の後、「世界がひとつになるまで」を全員で合唱しました。このような保・幼・小・中が連携した取り組みを今後も継続・発展させていきたいと考えています。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みによる効果

今年度、「四日市版コミュニティスクール」の委託を受け、地域・家庭・学校が一体となった学校づくりをより一層推進してきました。地域・保護者の方にも参観していただき、防災訓練の一環としてクリーン作戦・ホット集会を実施したり、3地区合同の「とみすはら大運動会」に多数の生徒がボランティアとして参加したりしました。また、地区の総合防災訓練にも多数の生徒が参加するなど、地域の行事にも積極的に参加し、充実した地域との関わりを行うことができました。地域とともにある学校という認識を深めることができました。



小中合わせて、年間6回のコミュニティスクール運営協議会を開催し、授業や音楽集会等の生徒たちの様子を参観していただきました。そして、その様子から、様々な角度からのご意見をいただき、教育活動に反映することができました。

保護者の皆様や地域の方々に生徒たちの様子を見ていただく機会が増え、直接言葉をかけていただいたり、コミュニティスクール運営会議等でいただいた生徒たちの良さを教師から伝えたりすることで、様々な方に認められているということを実感でき、生徒の自己有用感や自信につながっていくのではないかと思います。

また、小中合同で行っていくことで地域の子どもたちをどう育てていくかという視点での意見交換もできました。

3 今後に向けて

学校運営協議会において、次のようなご意見をいただきました。

- ・ ベーシックを利用した基礎学力の定着は小学校から継続した学びの一体化の成果でもあると感じる。ベーシック学習の意義の浸透に一層取り組み学力の定着をお願いしたい。
- ・ 落ち着いた学習・学校生活も学びの一体化の成果であると思う。
- ・ ペア学習、小グループ、コの字隊形での活動は、学び合う雰囲気が見て取れる。今後も継続してほしい。
- ・ どの学年も授業の数分前に着席しており、落ち着いて取り組んでいる。大変楽しそうに見える。また、ICTを活用して、視覚的に訴える授業が多くあり、学力向上につながっていると感じる。英語の授業が日本語、英語を交えて大変素晴らしい。
- ・ 学び合いの深まりはどうだろうか。意欲的に学習し合う生徒の姿勢は良い。生徒一人ひとりの個性を伸ばす指導を更に深めてほしい。今後も改善に向けて努力をお願いしたい。
- ・ 生徒と教師、教師と保護者の人間関係で柔らかな関係を意識していると感じる。来校者に対しても、心地良いあいさつをしてくれる。
- ・ 保育実習や体育祭では、優しく園児に関わる姿が見られた。日頃先生方が生徒にしっかりと向き合っていたらいい成果だと思う。
- ・ インターネットの使用状況は、他地域と比較して特に異なっている点はないと思うが、正しい使い方をすることが大切で、そのためにネット講座は重要と考える。
- ・ 多くの生徒が地域でもあいさつができ好感がもてる。
- ・ 今後も多くの生徒が地域の住民として、ボランティア等何らかの形で地域行事に参加していてももらいたい。学校としても可能な限り協力してほしい。
- ・ クリーン作戦、地区防災訓練等、中学生が地域に積極的に出かけ、地域住民や園児・児童と触れ合うのを目にし、とても良い取り組みをしていると思う。
- ・ 子どもは地域の宝である。地域行事に多くの子どもが参加することによって、地域に活気が出る。
- ・ 全員が徒歩通学であるが、細い道などで広がって登下校する姿を見かける。指導はしてもらっているが、命にかかわることなので継続して取り組んでほしい。
- ・ 校区の生徒が減少している。この校区の歴史や地域の特性、伝統、文化を伝えていく必要性を感じる。ゲストティーチャーなどが生徒と交流を深めながら伝えていく取り組みを考えたい。
- ・ 地域の大人が子どもたちとどう関わるかも大切である。

終わりに…

- ・ 今後も、四日市版コミュニティスクール推進に向けての取り組みを検討し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進していきます。
- ・ コミュニティスクール推進のために、保護者の方々だけでなく地域の方々にも、様々な情報を適切に発信していく必要があります。学校ホームページでの情報発信をはじめ、地域に情報発信をしていきます。
- ・ これからも、地域の人・場所を活用させていただきながら、目指す生徒像に向かって、地域とともに取り組んでいきたいと考えています。

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 富洲原中学校委員長 野村幸廣校長 新田英生

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会 (富洲原中学校)	I 校長挨拶及び委嘱状手交 II 議事 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 「学校づくりビジョン」について 各担当より説明・承認
6	第2回運営協議会 (富洲原小学校)	I 授業参観 (小学校) II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
7	第3回運営協議会 (富洲原中学校)	I 授業参観 (中学校) II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
8		
9	第4回運営協議会 (富洲原小学校)	I 小学校創立142周年記念式典臨席 II 小中学校の現状報告 ・全国学力学習状況調査及びNRTの結果に基づき づく自校の状況分析について ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について III 意見交流・情報交換
10		
11	第5回運営協議会 (富洲原小学校)	I 音楽集会参観 II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
12		
1		小中学校授業参観
2	第6回運営協議会 (富洲原中学校)	I 報告・協議 (1) 「教育活動に関するアンケート」等の報告 (2) 「学校関係者評価」について (3) 意見交流・情報交換
3		

